

平成28年度第4回佐久市総合計画審議会 議事録

日 時：平成28年10月24日（月）  
10：00～11：40  
場 所：佐久市役所 8階大会議室

- 【出席者】白井会長、山本副会長、岩間委員、桃井委員、油井委員、秋山委員、佐藤千恵子委員、柳沢委員、武重委員、田島委員、花岡委員、土屋やよい委員、大池委員、武者委員、石山委員、篠原委員、佐藤和夫委員、小林英雄委員、中島委員、上原委員、美齊津委員  
以上21名
- 【事務局】矢野部長、佐藤課長、若林課長補佐（企画調整係長）、市村企画員、小林主任、大井主任、山口主任、佐藤主事

- 1 開 会
- 2 議 事

（1）第二次佐久市総合計画前期基本計画の目標設定について

資料2プロジェクト目標について

質疑・意見等なし

資料3施策目標（市民満足度）について

質疑、意見

（委員）	文化・芸術の施策について文化振興基金と言う記載があるが、この基金はどのくらいでいつまで使えるのでしょうか。
（事務局）	文化振興基金については20億ほどあり、基金を活用した事業は、基金の運用による利子を財源としたものとなります。利子は年間3,300万ほどになり、それを活用していますので基金自体が減ることはございません。
（委員）	工業の施策について、企業誘致と言う記載もありますが、医療関係など絞ったものをぜひやっていただきたいと思います。
（事務局）	用地の確保も含め、就労・雇用の施策にも関わってくると思いますので、企業誘致等にはぜひ取り組んでいただきたいと思います。
（事務局）	地域の強みである医療、ヘルスケア産業の分野について特化した企業を誘致していく事にも取り組みたいところではありますが、現在東京、名古屋の産業立地推進員が動いている中では、なかなか絞った誘致というところまでは出来ていません。ただ、今後につきましては、こちらにも記載がございますが、健康長寿産業振興ビジョンを作る中で、佐久市の強みを生かした形での工業振興、企業集積

<p>(委員)</p>	<p>を図って行きたいと考えておりますので担当課にご意見としてお伝えさせていただきます。</p> <p>就労・雇用の施策に勤労者福祉の充実というのがありますが、佐久市が住みたくなる、多くの人から選ばれるまち、働き続けることができるまちというのには、これが非常に大切だと思います。皆さんもご存じと思いますが電通の過労による自殺がありました。私も区長をしていて会議を開いたりすると、若い人は土曜日でも出勤で夜に開くことができないといったこともあります。</p> <p>給料が高いのに越したことはないのですが、健康長寿を願うのであれば、それだけでなく福利厚生が良いということも大切だと感じます。家族とゆとりある時間が確保できるということが大事ではないでしょうか。ノー残業デーなどの取組も必要ではないでしょうか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>子育てがしやすい等そういった点では、ワーク・ライフ・バランスが非常に重要だと考えており、新しい計画の就労・雇用の部分でもワーク・ライフ・バランスの整った労働環境の整備の促進ですとか、勤労者福祉の向上のため勤労者互助会の加入の促進といったことを記載し、働きやすい勤労者福祉の充実にも取り組んでいきたいと考えております。</p> <p>いただいたご意見は担当課にもお伝えさせていただきます。</p>
<p>(委員)</p>	<p>ノー残業デーの話が出ましたが、本当にノー残業で帰れるのか、その分負担が大きくなったり、ノー残業代デーにならないように見ていかなければいけないと感じます。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>佐久市役所でも毎週水、金曜日と19日に育児の日としてノー残業デーを行っています。行政改革により人を減らすだけでなく、民間活用などにより仕事の量も減らさないといけないと考えております。</p>
<p>(委員)</p>	<p>少子化の急速な進行が大きな課題であり、青少年健全育成でいえば小さい区だと行事をやるにも子どもがいないという現状があります。計画の本文では少子化を踏まえた記載はされているのでしょうか。</p> <p>それと、高校教育・高等教育の施策に高校教育の充実とありますが市としてはどのような取組になるのでしょうか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>ご指摘の少子化を踏まえて、重点プロジェクトには出生率の目標もおいており、様々な施策を展開していかなければと考えております。</p> <p>基本計画の本文では、1章や4章の前期の主な取組において、少子化に係る記載をさせていただいております。</p>

	<p>高校教育に関しては、県の所管するところが多いため、市の施策と言う部分では少ないのですが、基本計画の本文では取組として、小中と高校の連携強化を図って行くということですか、高等教育では、連携をすることにより、産業の活性化につながるような人材育成を図りたいといったことを入れさせて頂いております。ご指摘を踏まえまして、施策展開をしてまいりたいと考えています。</p>
(委員)	<p>小中高の連携という中で、まず高校生が向上心を持って生活するというのは重要ですが、公共交通という面でもっと通学しやすくするといった対策や、企業と優秀な人材を育てるため奨学金制度を作るといった事を市から企業へ働きかけるという事も大切ではないかと思えます。経済的に厳しい中でも意欲を持っている子を伸ばすということは大切だと思います。</p>
(事務局)	<p>公共交通につきましては、新しい公共交通の計画を策定しているところですので、頂いた意見は庁内で共有させていただきます。</p>
	<p>企業との奨学金のお話も担当課にお伝えさせていただきます。</p>
(委員)	<p>このアンケート調査はただ施策名だけで5段階でアンケートをとっているのでしょうか。</p>
(事務局)	<p>アンケート調査では、施策毎に総合計画に記載されている主な取組と、施策を代表するような身近な取組例も記載したうえで、満足、やや満足といった5段階の評価を聞いております。</p>
(委員)	<p>継続的にアンケートをとっているのであれば、あまり聞く内容、説明を変えたりしない方が良いと思います。2年ごとに結果が出るとのことですが、この結果をどのように評価、分析するのか大変だと感じます。どうしてそうなったかというのを、今後に活かしていくという形になるかと思いますが、去年行った進行管理での重要度と満足度のクロス集計も一つのやり方かと思えますので、そのあたりも踏まえてお願いします。</p>
(事務局)	<p>満足度については、どの取組が良かったのか、悪かったのかそういった部分を職員で考察していくことが大切になるのではと考えております。時間をかけて総合的に考えたものを委員の皆さんに見てもらえればと考えております。</p>

資料4 重点管理項目について

質疑、意見

(委員)	<p>犯罪発生件数ですが、減らすのは良いのですが380件という目標は、1件でも犯罪はあって良いものではないので目標としてそぐわないのではないのでしょうか。</p>
------	---

(事務局)	理想はゼロなのかと思いますが、理想と現実がある中で33年に何が実現できるかというところで目標値を設定させていただいております。
(委員)	不登校児童生徒の割合と同様に何件以下との記載にすれば良いのではないのでしょうか。
(事務局)	そのような視点でもう一度見直しをさせていただきたいと思います。
(委員)	審議会で長い時間をかけてこれだけの計画を作ってきましたので、ぜひ途中でねじ曲がらないように計画通りに推進していただきたいと思います。
(委員)	良好な景観形成という言葉がありますが、現東京都知事の小池さんに講演をいただいた時に無電柱化の話がありました。お金も莫大にかかると思うのですが、これができれば結構なことだと思います。実際内山の夕日百景のところに行って夕日を見たのですが、前に電柱がたくさんありましてこれは景色を邪魔していると思いました。観光面でのメリットもあることですので、非常に難しいことだと認識していますがどうでしょうか。
(事務局)	<p>計画の中には、景観形成ということも盛り込んでおります。しかしながら無電柱化というのは莫大なコストがかかりますので、財源的な部分も踏まえ、今後考えさせていただきたいと思います。</p> <p>前期基本計画の第5章の中に佐久の原風景という言葉が出てくるのですが、佐久の原風景は大きく見ると浅間山と千曲川の清流、八ヶ岳連山の3つかと思い第一次計画も作りました。第二次でも佐久の原風景を守りながら国の施策にも追随しながら進めていければと思っています。</p>

目標設定案について承認いただいた。

(2) その他

次回開催予定などについて連絡

3 閉 会